

第3章 職場や仕事での重視点

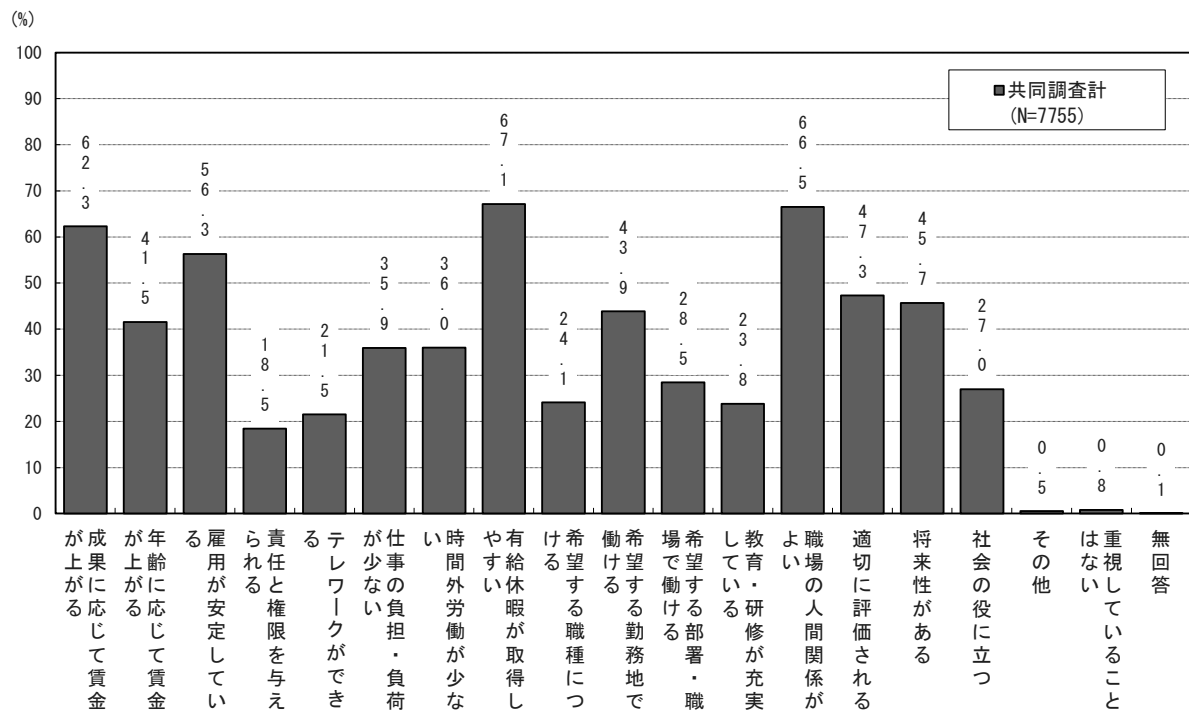
若者たちは仕事に何を求めているのだろうか。本章では、仕事における重視点を確認し、若者がどのようなことを重視しながら日頃の業務を行っているのかみていく。また仕事に関する対比的な見方（「収入を得るための場」もしくは「自己実現の場」か）や仕事における安定性への志向を通じて、仕事観についても確認している。

1. 仕事で重視すること

仕事で重視することについてあてはまるものすべてを選んでもらった結果は、「有給休暇が取得しやすい」（67.1%）、「職場の人間関係がよい」（66.5%）、「成果に応じて賃金が上がる」（62.3%）が6割台で並び、「雇用が安定している」（56.3%）も半数を超える。また「適切に評価される」（47.3%）、「将来性がある」（45.7%）、「希望する勤務地で働ける」（43.9%）、「年齢に応じて賃金が上がる」（41.5%）、「時間外労働が少ない」（36.0%）、「仕事の負担・負荷が少ない」（35.9%）は3～4割台である。

一方で、「希望する部署・職場で働ける」（28.5%）、「社会の役に立つ」（27.0%）、「希望する職種につける」（24.1%）、「教育・研修が充実している」（23.8%）、「テレワークができる」（21.5%）、「責任と権限を与えられる」（18.5%）は1～2割台であり、相対的に比率が少ない項目となっている（第3－1図）。

第3－1図 仕事で重視すること（複数選択）



性別にみると、男性は「成果に応じて賃金が上がる」(65.2%)が最も重視されている。一方、女性は「職場の人間関係がよい」(76.1%)や「有給休暇が取得しやすい」(75.8%)が男性以上に重視されており、さらに「雇用が安定している」「時間外労働が少ない」「希望する勤務地で働ける」も男性に比べて多い。

年齢別では、男女ともに年齢の上昇に伴い「適切に評価される」や「テレワークができる」が多くなる。また女性では年齢の上昇に伴い「有給休暇が取得しやすい」もより重視されるようになる(第3-1表)。

第3-1表 仕事で重視すること(複数選択)

		上 成 果 に 応 じ て 賃 金 が 上 が る	年 齢 に 応 じ て 賃 金 が 上 が る	雇 用 が 安 定 し て い る	責 任 と 権 限 を 与 え ら れる	テ レ ワ ー ク が で き る	少 な い 仕 事 の 負 担 ・ 負 荷 が	時 間 外 労 働 が 少 な い	す い 給 休 暇 が 取 得 し や る	有 給 休 暇 が 取 得 し や る	希 望 す る 職 種 に つ け る	希 望 す る 勤 務 地 で 働 け る	希 望 す る 部 署 ・ 職 場 で 働 け る	教 育 ・ 研 修 が 充 実 し て い る	い 職 場 の 人 間 関 係 が よ い	適 切 に 評 価 さ れ る	将 来 性 が あ る	社 会 の 役 に 立 つ	そ の 他	な い 重 視 し て い る こ と は	無 回 答	件 数
	共同調査計	62.3 ③	41.5	56.3 ④	18.5	21.5	35.9	36.0	67.1 ①	24.1	43.9 ⑦	28.5	23.8	66.5 ②	47.3 ⑤	45.7 ⑥	27.0	0.5	0.8	0.1	7755	
年 齢 別	男性計	65.2 ①	42.3 ⑦	53.2 ④	20.4	18.4	34.7	32.6	63.8 ②	23.5	41.7	27.5	23.1	62.9 ③	46.9 ⑥	47.4 ⑤	26.7	0.6	0.9	0.1	5561	
	2 4 歳以下	59.5 ③	42.0 ⑥	46.5 ④	15.0	13.8	31.7	31.0	64.2 ①	24.5	39.8 ⑦	27.0	26.7	61.0 ②	39.3 ⑥	44.0 ⑤	22.5	0.4	1.1	0.1	966	
	2 5 ～ 2 9 歳	66.2 ①	42.5 ⑦	52.6 ④	19.8	18.1	34.4	32.0	62.2 ③	24.5	40.9	28.0	23.6	62.6 ②	46.8 ⑥	47.5 ⑤	26.3	0.4	1.0	0.1	2155	
	3 0 歳以上	66.6 ①	42.3	56.4 ④	23.2	20.5	36.2	33.8	65.1 ②	22.2	43.2 ⑦	27.2	21.3	63.9 ③	50.0 ⑤	48.7 ⑥	28.8	0.8	0.7	0.1	2440	
	女性計	55.1 ④	39.8	64.7 ③	13.2	29.5	39.1	44.9 ⑦	75.8 ②	25.7	49.3 ⑤	31.0	25.3	76.1 ①	48.2 ⑥	41.2	27.7	0.4	0.2	...	2136	
年 齢 別	2 4 歳以下	50.1 ④	38.6	62.9 ③	9.6	21.4	32.6	40.0	71.5 ②	24.0	45.2 ⑤	31.0	26.5	73.0 ①	42.2 ⑥	40.9 ⑦	24.6	0.2	...	...	533	
	2 5 ～ 2 9 歳	55.4 ④	40.4	64.0 ③	13.4	29.8	43.0	45.5 ⑦	76.0 ①	25.9	48.4 ⑤	30.4	24.1	75.5 ②	45.9 ⑥	40.8	26.7	0.5	0.4	...	975	
	3 0 歳以上	58.9 ④	39.8	67.4 ③	16.1	35.8	38.7	47.9 ⑦	79.1 ②	26.8	54.3 ⑥	32.0	26.3	79.6 ①	56.8 ⑤	41.9	32.0	0.3	0.2	...	628	
学 歴 別	高校卒	68.0 ②	46.4 ⑥	52.7 ④	15.1	10.4	32.8	31.7	69.2 ①	19.0	36.5	25.8	22.5	62.4 ③	46.4 ⑦	47.4 ⑤	20.2	0.5	1.0	0.1	2383	
	高専・短大・ 専門卒	66.2 ②	42.0	56.6 ④	16.5	22.8	40.1	36.7	70.6 ①	21.8	44.1 ⑦	28.0	24.1	65.3 ③	47.6 ⑤	46.2 ⑥	23.8	1.0	0.7	0.1	714	
	大学卒	57.9 ④	40.0	58.1 ③	19.1	25.5	38.0	39.5	65.4 ②	25.1	46.7 ⑤	28.3	24.2	68.2 ①	46.6 ⑥	42.9 ⑦	29.7	0.4	0.9	0.1	3725	
	大学院修了	62.6 ③	35.3	58.2 ④	26.4	33.4	32.9	33.0	66.4 ②	35.5	52.4 ⑦	36.6	26.1	71.6 ①	52.9 ⑤	52.5 ⑥	36.3	0.6	0.1	...	901	

5.0 「共同調査計」より5ポイント以上少ない

5.0 「共同調査計」より5ポイント以上多い

15.0 「共同調査計」より15ポイント以上多い

※丸数字は比率の順位(第7位まで表示)

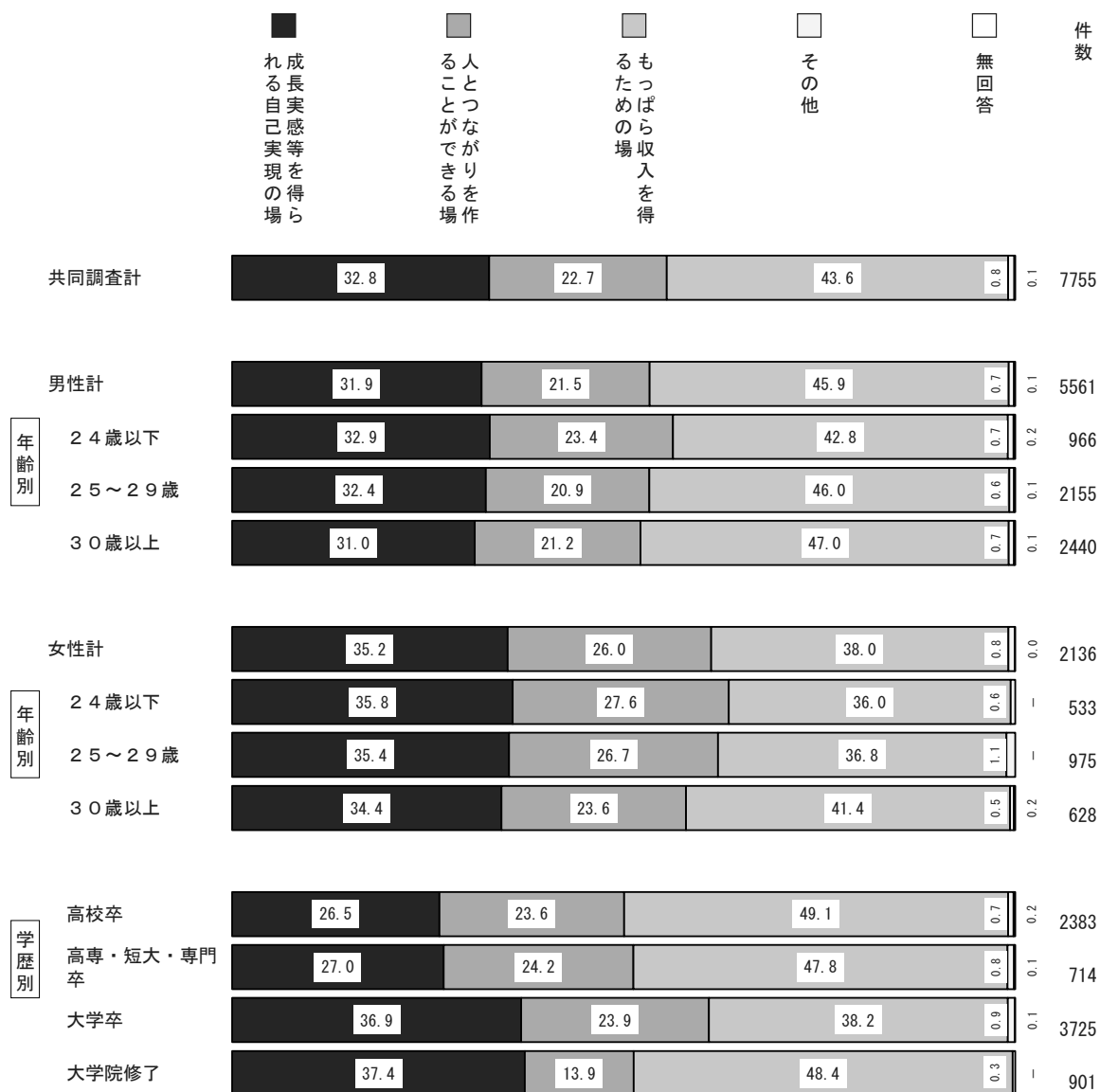
2. 仕事はどのようなものか

仕事について、「もっぱら収入を得るための場」(43.6%)が最も多いが、「成長実感等を得られる自己実現の場」(32.8%)も3人に1人を占める。「人とつながりを作ることができる場」は22.7%である。

このような結果は性別年齢別にみても変わらない。

学歴別に「成長実感等を得られる自己実現の場」をみると、高校卒(26.5%)や高専・短大・専門卒(27.0%)に比べて、大学卒(36.9%)や大学院修了(37.4%)で多い(第3-2図)。

第3-2図 仕事について



3. 新しい事業の開始など職場の変化に対する姿勢

職場の変化に対する姿勢について、「積極的に受け入れる」(52.6%)と「しかたないから受け入れる」(44.8%)とに分かれている。一方、「受け入れたくはない」は2.4%にとどまる。

性別年齢別では大差ない。

学歴別に「積極的に受け入れる」をみると、高校卒(45.7%)や高専・短大・専門卒(46.5%)に比べて、大学卒(56.6%)や大学院修了(59.2%)で多い(第3-3図)。

第3-3図 新しい事業の開始など職場の変化に対する姿勢

